

職層研修「係長研修」（第9回）

【日時】	令和2年12月3日（木）、令和3年1月18日（月）、27日（水） 9：00～17：00
【会場】	特別区職員研修所
【受講者数】	17名
【講師】	社会福祉法人恩賜財団済生会 理事長 炭谷 茂 氏 公益財団法人東京都人権啓発センター 西谷 隆行 氏 特別区人事・厚生事務組合 職員 株式会社ヒューマンエナジー 相場 聖 氏、佐伯 学 氏、下垣内 智 氏
【研修内容】	<p><目的></p> <p>係長の役割として必要な部下の育成・指導や勤怠管理、メンタルヘルスマネジメントの知識を習得し、組織管理能力の向上を図ることにより、組織の活性化を図る。また、人権・同和問題の現状、行政をめぐる最近の訴訟事例、えせ同和行為対応及び特別区制度について、係の指導者として身につけておくべき知識を習得する。</p> <p><内容></p> <p>（1日目）</p> <p>① 人権・同和問題の現状 人権問題や同和問題についての正しい知識と最新状況を知る。</p> <p>② 行政をめぐる最近の訴訟事例 行政をめぐる最近の訴訟事例について学び、日々の業務の中で注意すべきことを学ぶ。</p> <p>③ えせ同和行為対応 えせ同和行為に関する知識を習得し、適切な対応方法を学ぶ。</p> <p>④ 特別区制度 特別区制度の特徴について理解を深める。</p> <p>（2・3日目）</p> <p>① 係長の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係長としての役割を理解した上で、係長職に必要となる部下のマネジメントの基本を学ぶ。 ・職員のメンタルヘルスマネジメントのポイントを理解する。 ・職場でのアクションプランを作成し、3日目の研修までに実践及び評価を行う。 ・部下とのコミュニケーションの重要性を学び、部下のモチベーションと能力を引き出すためのコーチングスキルを習得する。
【受講生の声】	<p>【人権・同和問題の現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同和問題の歴史的背景や国の取組など幅広い内容の話が聞くことができ、とても勉強になりました。 <p>【行政をめぐる最近の訴訟事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで訴訟を身近に感じたことがなかったので、講義で具体的な訴訟事例についての話が聞け、大変参考になりました。

【えせ同和行為対応】

- ・トラブルがあった際、すぐに話し合える風通しの良い職場にしておくことが大切だと感じました。また、えせ同和行為に対しては、初期対応が非常に重要であることも学びました。

【特別区制度】

- ・普段の業務ではあまり触れることはないが、特別区の職員として、特別区の歴史や制度について知っておくことは非常に大切であると感じました。

【係長の役割】

- ・メンタルヘルスなど身近な問題について講義で触れられたので、為になる研修でした。
- ・一人一人の価値基準が違うということを改めて学びました。その人に合わせたアプローチの仕方を考えながら職員と関わっていきたいと思いました。